

担当教員 太田心平				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSf07	授業形態 演習	単位 2
キーワード 韓国・朝鮮		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 博物館研究演習 I				
科目名称：英語(授業概要の授業科目) Seminar I (Museum Anthropology)				
科目の概要：日本語(授業概要の内容) 韓国文化論				
科目の概要：英語(授業概要の内容) Korean Culture				
科目の目的：日本語 韓国・朝鮮の地域研究をおこなうものとして必須の学科目を担当する能力をえるとともに、各自が韓国・朝鮮についておこなっている研究をより大きな枠組みに位置づける。				
科目の目的：英語 (1) To learn the professional ability to teach a Korean culture related class, (2) To remap each other's research theme in the larger picture				
学習成果・習得する技能や知識： 韓国・朝鮮の文化史、家族親族論、政治経済、宗教的特徴、衣食住、トランスナショナリズム等の主要なテーマについて、自身の研究内容をおりまぜながら、学部生に教授できるようになることを目的とする。				
成績評価方法・基準： 授業へ参与した度合いにより評価する。				
授業内容： [第1回] ガイダンス、文化の概念 [第2回] 文化の歴史的構築 (1) [第3回] 歴史認識の再帰性 [第4回] 文化の歴史的構築 (2) [第5回] 文化の機能主義的認識 [第6回] 宗教文化 [第7回] 家族親族論 [第8回] 文化の構造主義的認識 [第9回] 政治文化				

<p>[第 10 回] 経済文化</p> <p>[第 11 回] 文化論の寓話性</p> <p>[第 12 回] 文化の認識論・意味論</p> <p>[第 13 回] 衣食住</p> <p>[第 14 回] トランスナショナリズム</p> <p>[第 15 回] 文化の論じ方</p> <p>学部や修士課程の学生にむけて 90 分×15 回でおこなう韓国文化論の講義を聴講し、その内容の疑問点や改善点を討議する。</p>
<p>日程：</p> <p>受講生と協議により決める。</p>
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館 4階 演習室</p>
<p>使用言語：</p> <p>日本語</p>
<p>その他使用言語：</p> <p>韓国語や英語を交えることもある</p>
<p>準備学習：</p> <p>なし</p>
<p>関連科目・履修条件：</p> <p>韓国・朝鮮の地域研究をおこなっている博士後期課程の学生であること。</p>
<p>教科書・必読書：</p> <p>なし</p>
<p>参考書・その他の教材：</p> <p>なし</p>
<p>備考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習用の映像を貸し出す。 ・地域文化学・比較文化学の 2 専攻の学生のみ申請可